



—「源泉回帰」開湯1300年—

関金温泉

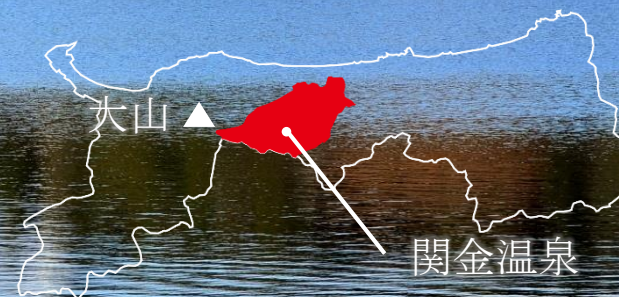
SEKIGANE-Platinum-ONSEN 1300th Anniversary

「暮らす価値」と「旅する価値」を

見いだせる新たな温泉地をめざして

良質の温泉、雄大な自然、食材、農家体験、民泊、伝統文化体験・・・

豊かな地域資源がそろった東大山麓「関金」を満喫



1. 関金温泉の概要

1. 関金温泉の概要

(開湯～江戸時代)

開湯伝説は諸説ある。開湯年代を養老年間（西暦717-723年）とする昭和初期の文献では、行基（668-749年）が発見し、一度廃れたが弘法大師（774-835年）が再興し、山名小太郎（室町の武将）が浴槽を設置したとなっている。



«717年を起源に2017に『1300年』を迎える»

関金温泉には、無色透明の湯の美しさから「銀の湯」「しろがねの湯」との古名があり、**伯耆民談記**にも「**銀湯**」として登場する。



江戸時代には、鳥取県中部と山陽地方を結ぶ**備中街道**（美作街道）上にあり、関金宿が置かれていた。また、同エリア大鳥居地区は大山参詣路の登り口でもあった。（たたらと木地の産地だった）



1. 関金温泉の概要

(昭和初期～平成)



昭和36年頃（約56年前）の温泉街の様子

当時 旅館 10 軒



現在の温泉街の様子

現在 旅館 2 軒
+ 公共施設・国民宿舎・民宿・貸別荘

1. 関金温泉の概要

(昭和初期～平成)



昭和16年(1941)に関金温泉のある関金駅、昭和33年(1958)に山守駅まで開業し、改正鉄道敷設法で「岡山県勝山ヨリ鳥取県倉吉ニ至ル鉄道」と定められ中国山地を越えて姫新線の中国勝山駅まで延伸する計画(南勝線)もあったが、整備が進んだ並行する道路を走る本数の多いバスや自家用車にはかなわず、昭和60年(1985)3月31日に、「さようなら倉吉線」のヘッドマークを取り付けたさよなら列車が運行され、山守発22時7分の臨時列車を最後に歴史に幕を閉じた。

倉吉-関金間は僅か27年の歴史

1. 関金温泉の概要

(昭和初期～平成)



昭和43年 国民宿舎が開業

その後平成に入り新館を建築
公共施設として行政直営から
指定管理へ。今年民間へ譲渡。



平成7年 簡易宿泊所が開業

湯治専門の簡易宿泊施設開業
公共施設として、指定管理へ。
現在も指定管理。



平成7年 温浴施設が開業

複合日帰り温泉施設が開業
公共施設として、指定管理。
現在も指定管理。

いずれも温泉街の南側道路へ公共施設が出来、現在の集客の中心は温泉街から移り替わっている。

1. 関金温泉の概要

(温泉街の立地)



1. 関金温泉の概要

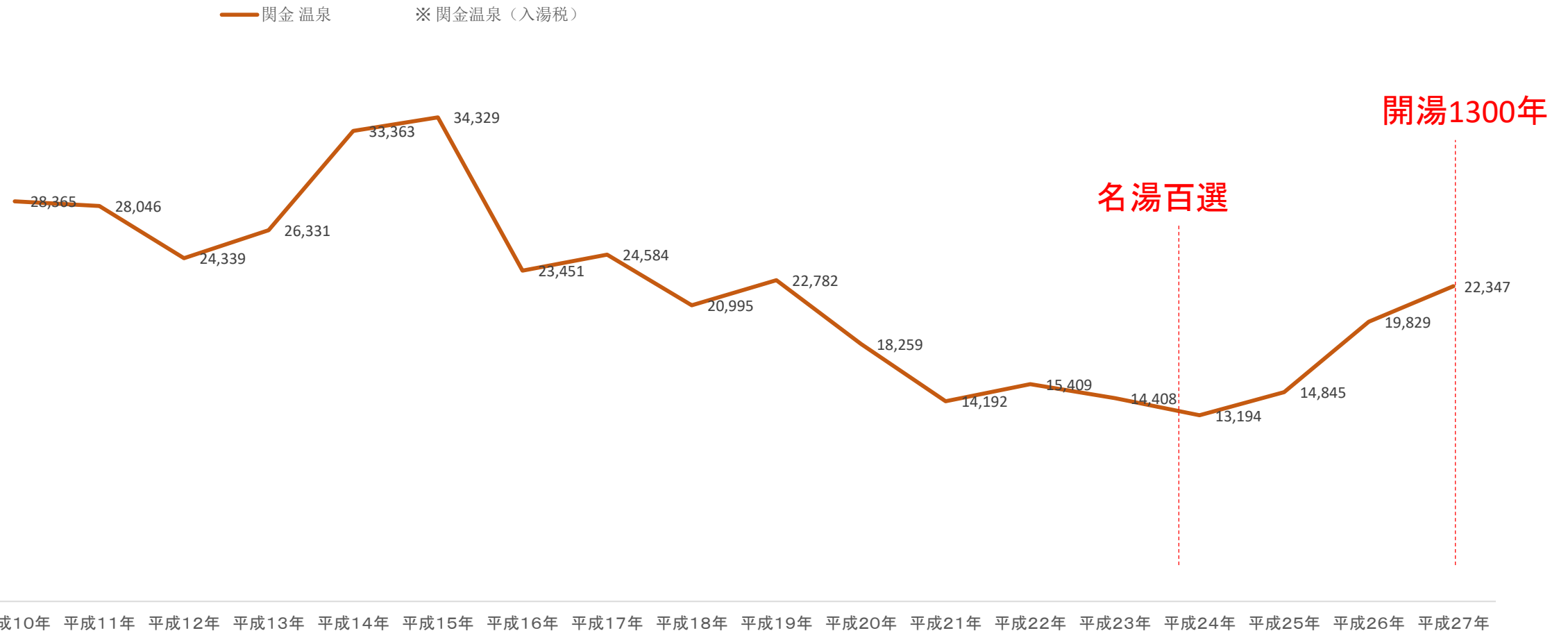
(温泉地の概要)



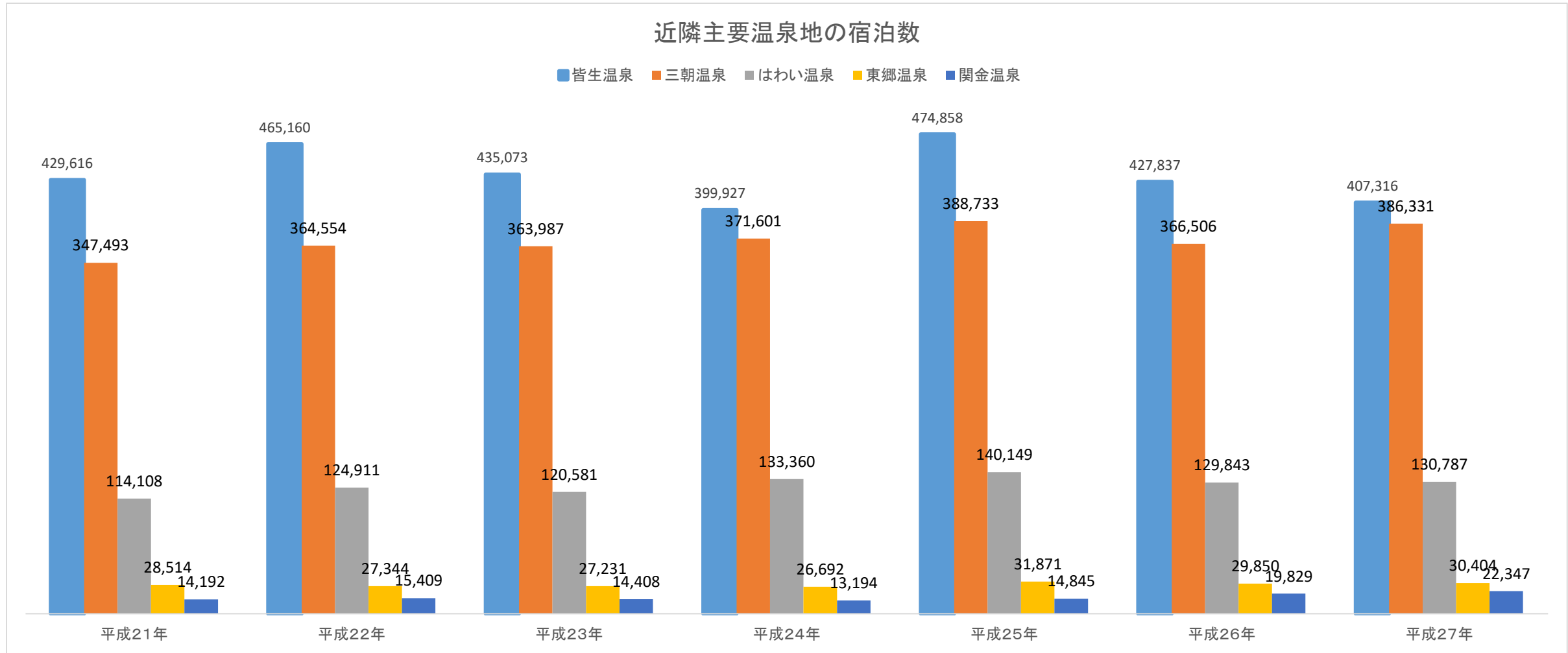
2. 関金温泉の観光動向

2. 関金温泉の観光動向（宿泊人数推移）

関金温泉宿泊者数の推移



2. 関金温泉の観光動向（近隣温泉地比較）



2. 関金温泉の観光動向（マーケティング）

マーケティング調査

倉吉市GAP調査2016（＊）／速報値

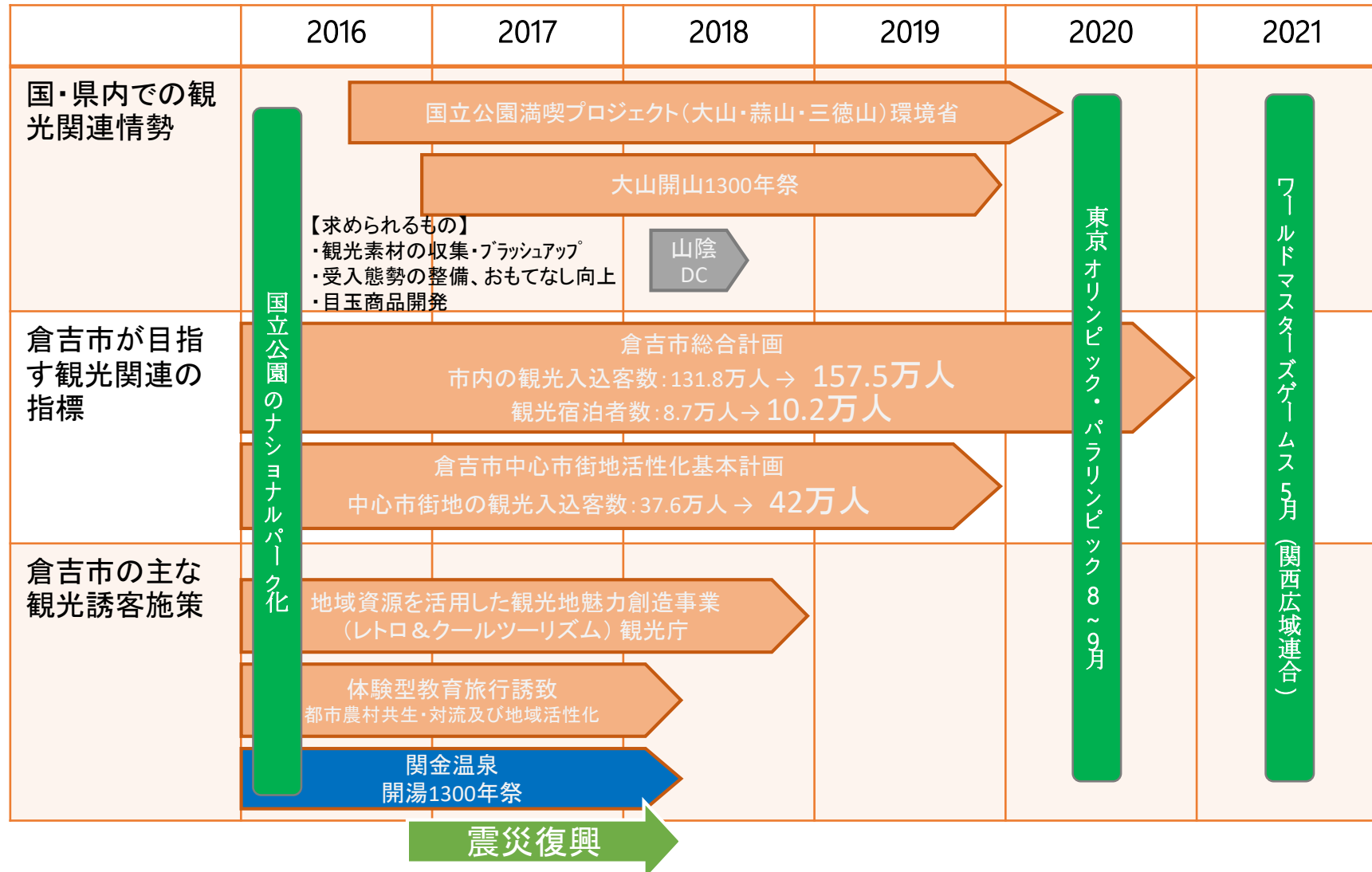
- ・ 倉吉市へ観光で訪れたことがある → 20%
- ・ そもそも倉吉市を知らない → 31.2%
- ・ 倉吉市来訪時の宿泊先は三朝温泉 → 52.2%（関金温泉→9.7%）

一方で、倉吉市の観光資源の「興味度」では、「関金温泉」「倉吉線廃線」「明高そば」「イワナ料理」が高く、認知度を上げることで売れるコンテンツとなる可能性がある。

（＊）倉吉市打吹地区回遊性向上調査において、じゃらんリサーチセンターが今年11月に実施した調査

2. 関金温泉の観光動向（観光展開）

倉吉市・鳥取全体の今後の観光展開（機会）



2. 関金温泉の観光動向 (観光展開)

国立公園（大山・蒜山・三徳山）のナショナルパーク化決定。



関金を含む 東大山山麓エリア

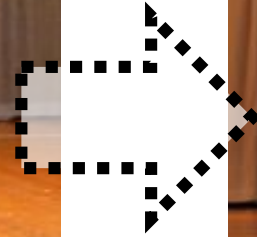
環境省では、政府が本年3月30日にとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき、日本の国立公園を**世界水準の「ナショナルパーク」**としてのブランド化を図ることを目標に、「**国立公園満喫プロジェクト**」として、まずは、大山隠岐国立公園(鳥取、島根、岡山)を含む8カ所の国立公園を選定し、2020年までに訪日外国人を惹きつける取組を計画的、集中的に実施することを決めた。

3. 関金温泉近年取り組み

3. 関金温泉近年の取り組み (契機)



平成23年10月 日本の名湯百選



平成24年3月 活性化シンポジウム

その後

「関金温泉」を歓楽地温泉ではなく、保養温泉地として、どのように再興していくのかという視点から、官民連携で「関金温泉グランドデザイン」を立案していきます。

3. 関金温泉近年の取り組み (取り組みの全体構造)

平成23年10月に「日本の名湯百選」認定後
旅館組合が中心となって取り組んできたこと。



『プラチナ プロジェクト』

- ・ 温泉の健康利用
⇒ 湯中運動
- ・ 温泉の介護利用
⇒ 介護付温泉
- ・ 健康温泉サミット



『地域おこし 協力隊発掘』

- ・ 体験ツアー実施
⇒ 上所さん
- ・ キャラバン実施
⇒ 西河さん



『関金グランド デザイン』

- ・ グランドデザイン会議
⇒ 方針発表
- ・ しゃあまけ笑会
⇒ 廃業旅館再生
⇒ 手づくり文化祭

3. 関金温泉近年の取り組み (プラチナPJ)

プラチナプロジェクト

関金温泉

- ・ 1300年の歴史。ラジウム含有量日本屈指。白金の湯。
- ・ 国民保養温泉地（S54）、日本の名湯百選（H23）認定。
- ・ 休養、保養、療養にふさわしい温泉地。

休養、保養、療養効果の高い「温泉」を中心とした取り組みが必要

観光

- ・ 心身の休養を求める個人・グループ客をターゲット
- ・ 自然に触れ、体験を通じ住んでみたいと思う旅
- ・ 心身リセットできる旅

体験旅行・廃業旅館再生

健康

- ・ 健康のため保養を求める個人客をターゲット
- ・ 病気にならない健康づくりが出来る温泉運動
- ・ 健康寿命保つプログラム

湯中運動・健康マイレージ

介護

- ・ 二・三世代で介護者と療養を求める家族ターゲット
- ・ 介護者が家族と一緒に気軽に旅館で過ごせる休日
- ・ 社会参加途切れない温泉

介護付旅館利用

3. 関金温泉近年の取り組み (湯中運動)

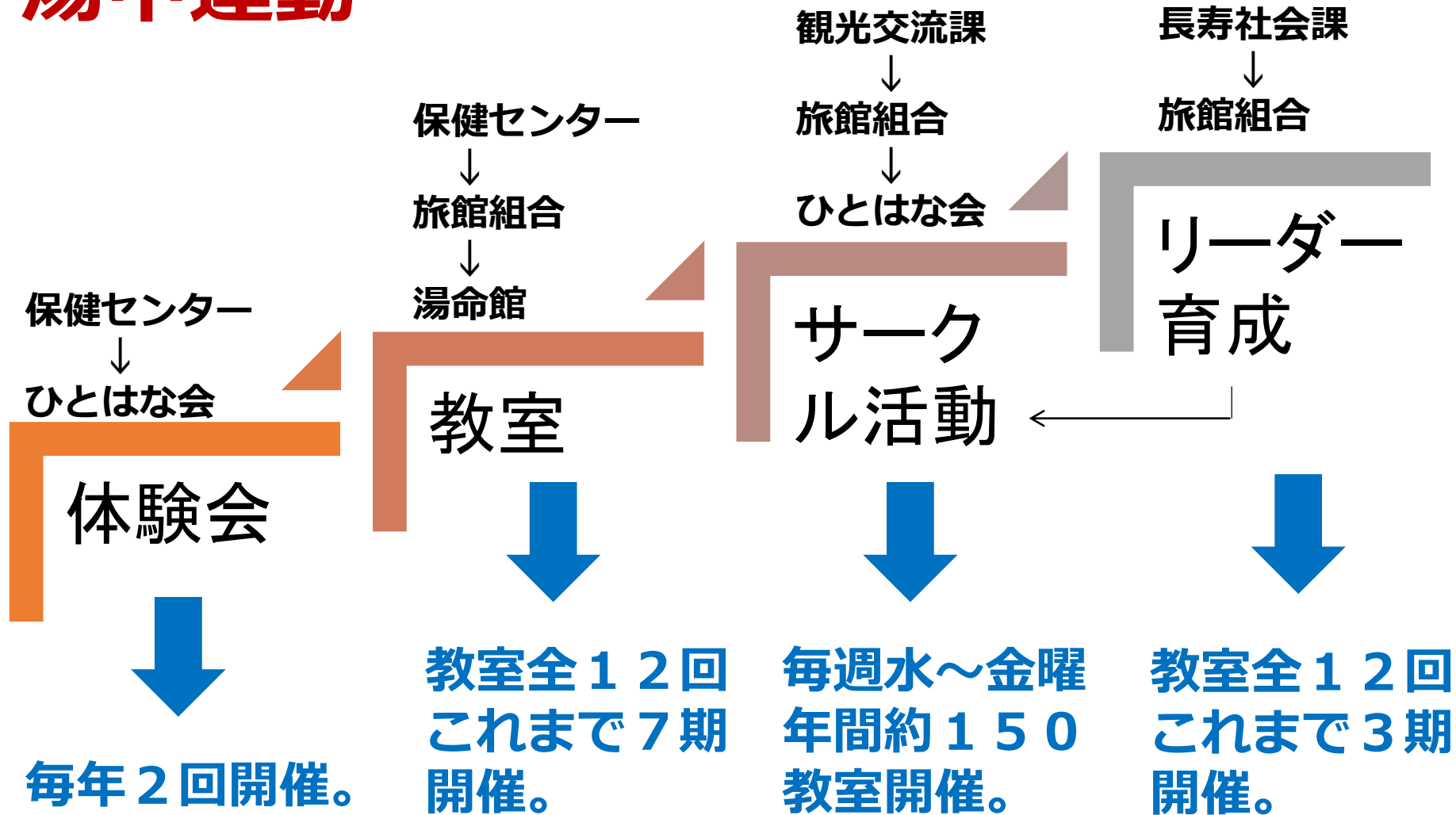
湯中運動 (公的保険外サービス：保健事業委託)

【内容】 温泉の中で手足を伸び縮みさせる運動です。
血流の流れが良くなり、筋肉と関節のバランスが整う
などの効果があります。



3. 関金温泉近年の取り組み（湯中運動）

湯中運動



現在は、
サークル会員
70名
自主サークルと
して行政支援
なしで継続して
いる。

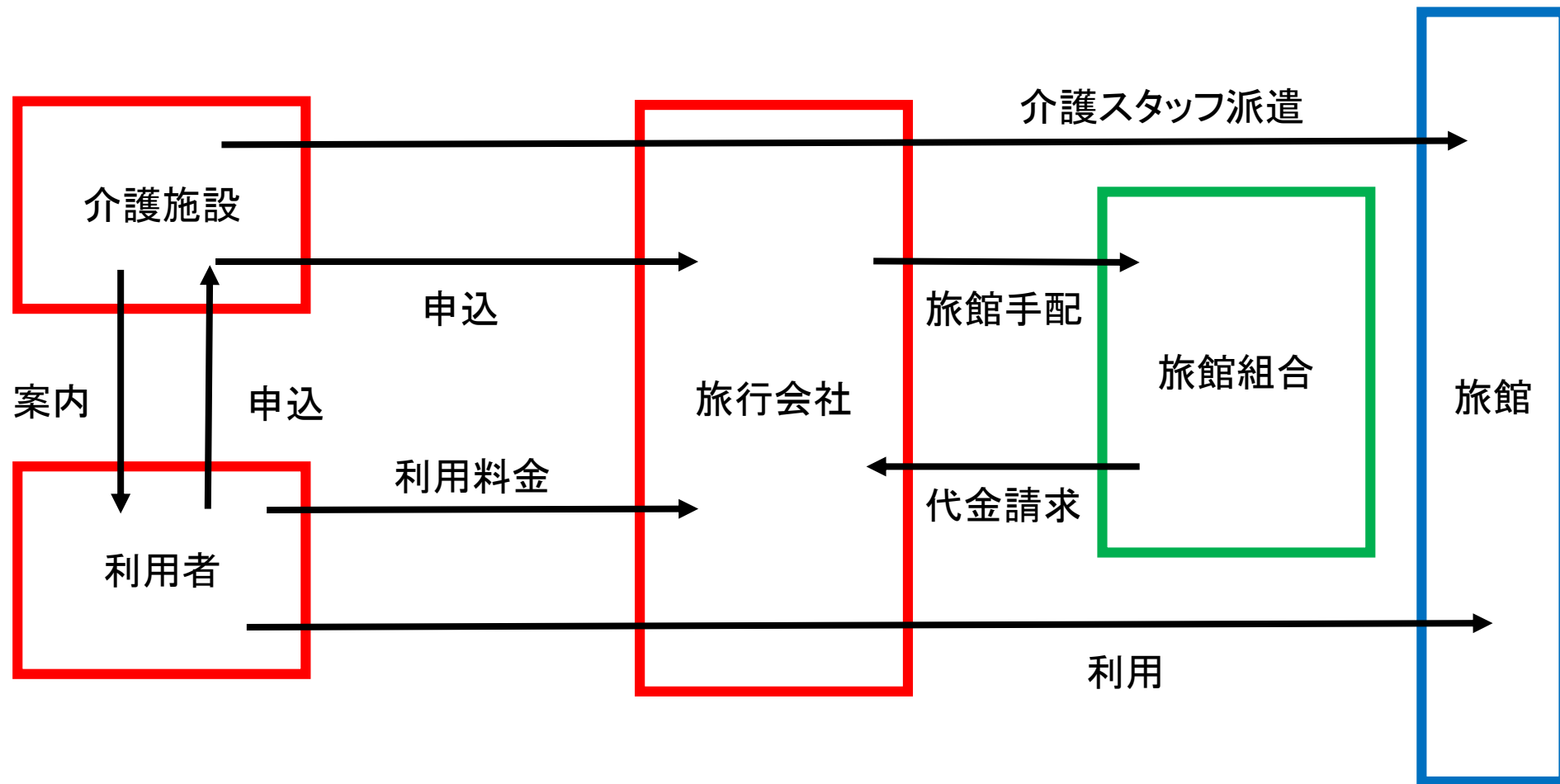
3. 関金温泉近年の取り組み (介護付旅館サービス)

介護付旅館利用サービス

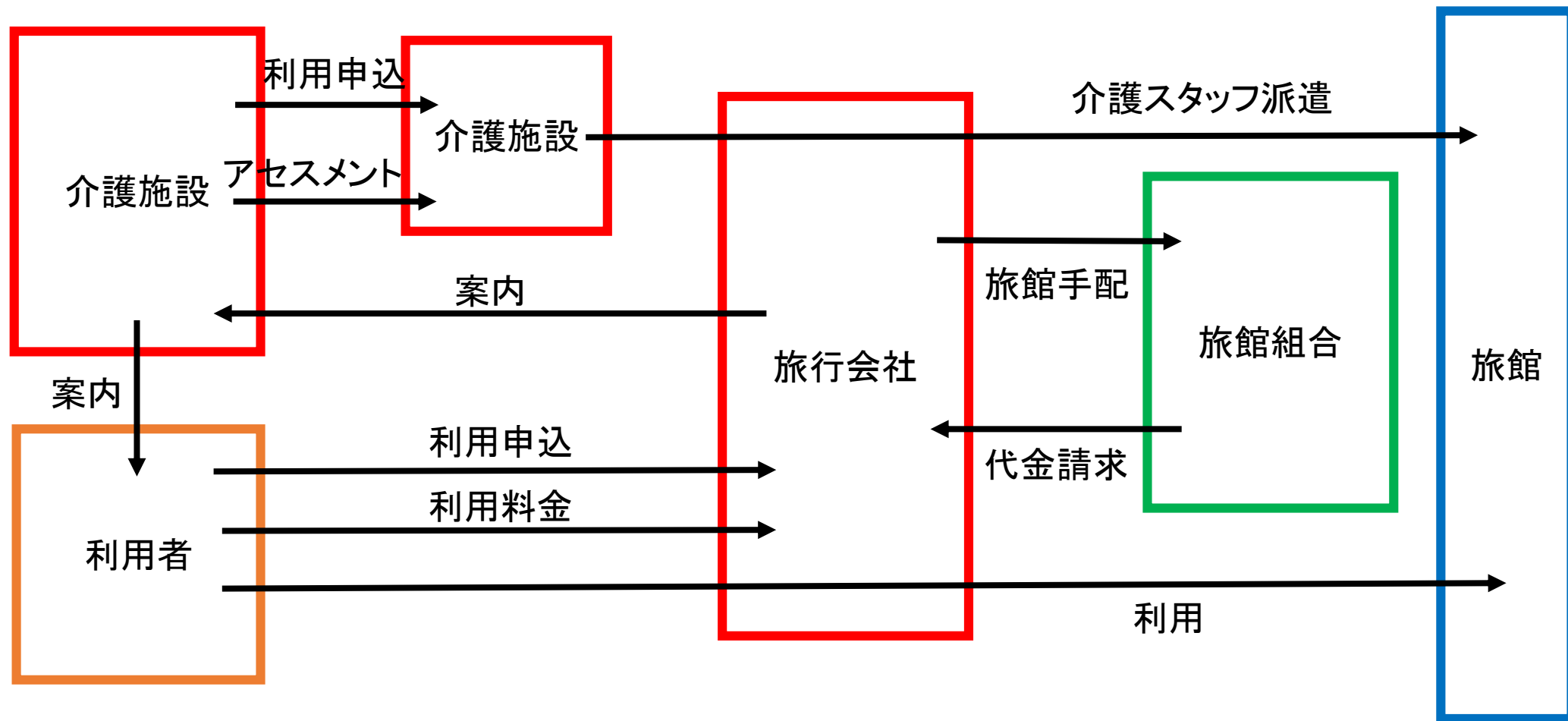


介護スタッフの派遣費用の課題、ハード面の課題、温泉利用時の転倒リスク、排泄物等のリスク等課題等
今年、研究課題として駒沢大学原田教授とモニタリングを行う。

3. 関金温泉近年の取り組み (介護付旅館サービス)

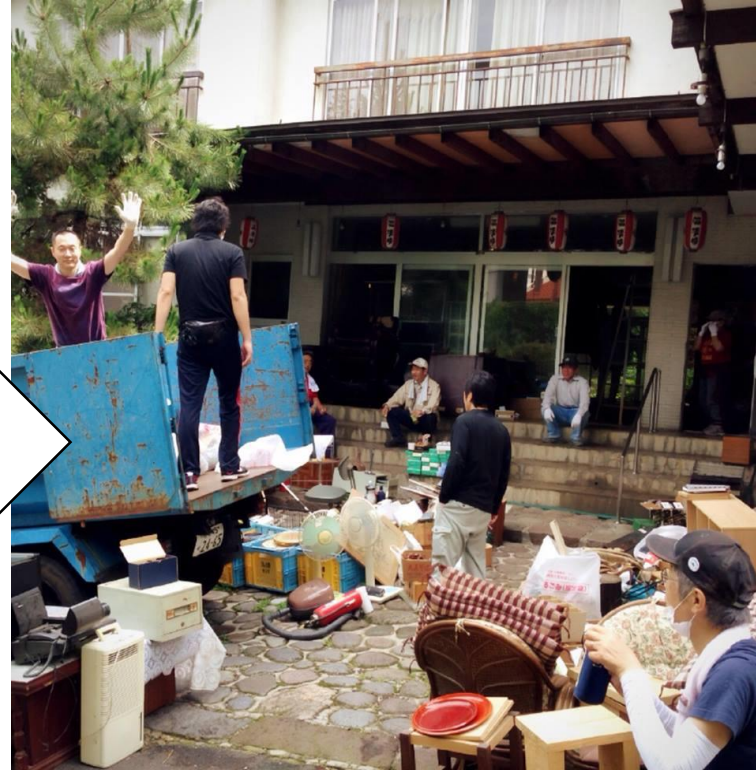


3. 関金温泉近年の取り組み (介護付旅館サービス)



3. 関金温泉近年の取り組み (廃業旅館再生)

廃業旅館の再生の取り組み



廃業した旅館ロビーを改装し、貸スペース・カフェへ
露天風呂を改装し、現在は足湯スペースへ。

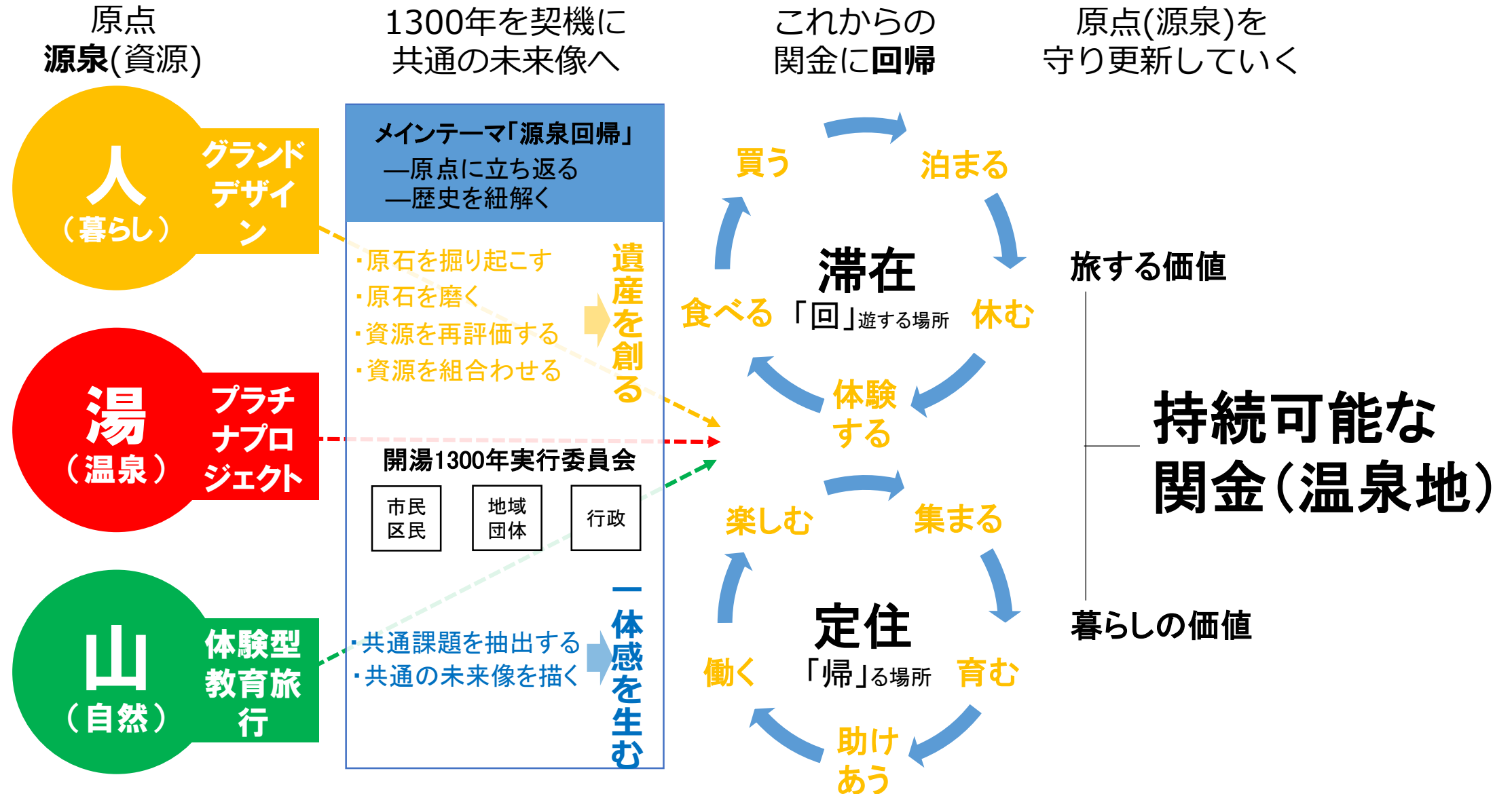
3. 関金温泉近年の取り組み (1300年祭)



開湯1300年メインテーマ **源泉回帰**

- ・開湯1300年を契機に、1年の「祭」で完結しない、新たな100年のスタートの年にする。
- ・1300年実行委員会組織は、実行部隊ではなく、関金全体のブランディングや方向性、戦略を決める、言わば「まちの経営」組織とする。

3. 関金温泉近年の取り組み (1300年祭)



3. 関金温泉近年の取り組み (1300年祭)

開湯1300年祭 — 主なイベント



体験 × 地域

倉吉せきがね里見まつり
(9月3日)
関金御幸行列
(9月18日)
※伝統行事と合わせて
体験メニューを創設



健康 × 地域

健康と温泉フォーラム
(10月19～20日)
(ラジウム・ラドン温泉
連携)



歴史 × 体験

ミニたたらワークショップ
(全4回予定)
はいくら体験フェス
(廃線活用イベント)



歴史 × 健康

東大山古道トレッキング
(10月21～22日)
「歴史の道百選」大山道と「日
本の名湯百選」関金温泉を繋ぐ
ロングトレイル

4. 関金温泉の課題

様々な取り組みは進んでいるが

根幹の課題

温泉地としてどうしていくのか？

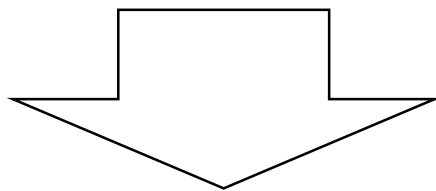
について解決していない。

第1の契機

「名湯百選認定」 ➡ 今日までの一連の取り組み

第2の契機

「健康と温泉フォーラム2017」 ➡ これからの取り組み



温泉地として方向性を明確に示す年

4. 関金温泉の課題（施設の後継者問題、老朽化）

（組合会員）

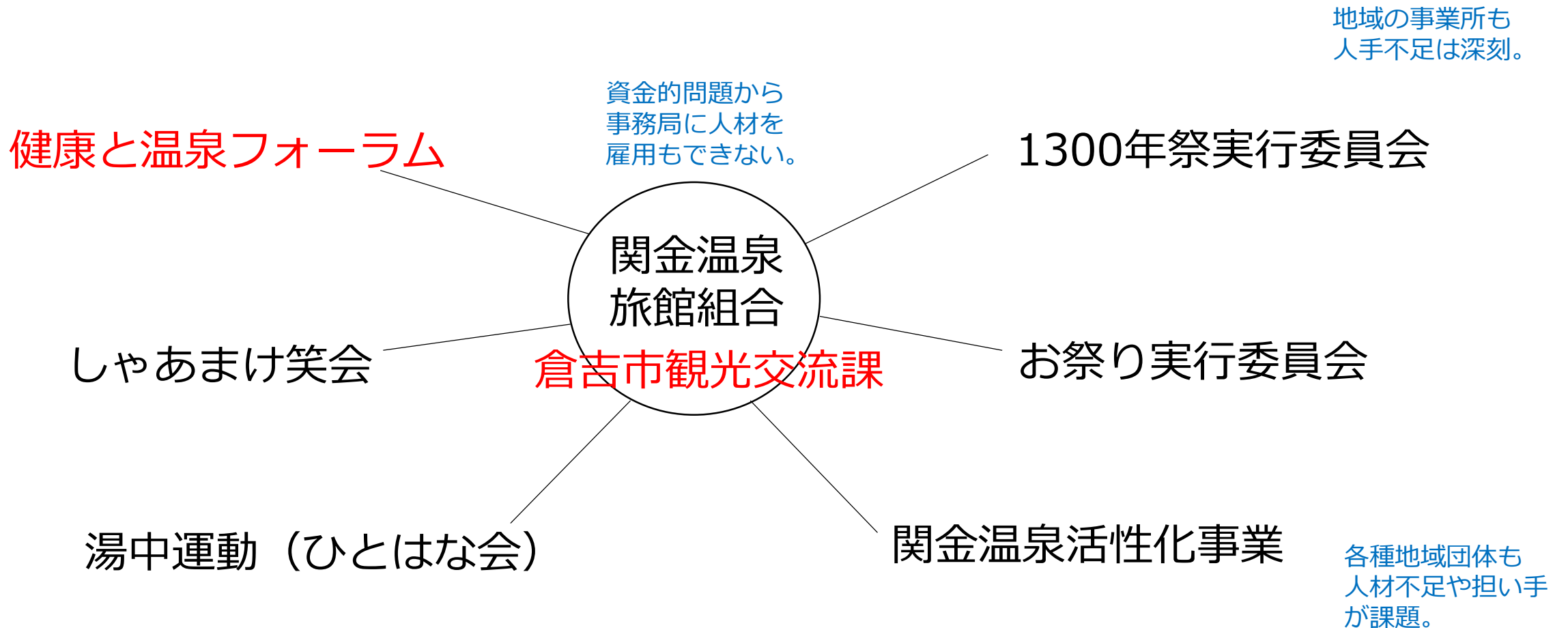
グリーンスコーレせきがね	35室 147名	国民宿舎	民間譲渡。関金温泉の宿泊中心施設だが、耐震問題等抱えている。
簡易宿泊施設 湯楽里	16室 72名	簡易宿泊	湯治客が多く、常連客が多い宿。食事提供はなし。老朽化が進んでいる。
美章苑	15室 60名	旅館	後継者が不在。今後については決まっていない。

（非会員）

鳥飼旅館	7室 30名	旅館	後継者はいるが、明確に決まっていない。施設の老朽化は激しい。
民宿 湯久里庵	5室 20名	民宿	
四季の郷	3室 12名	貸切宿	元保養所を賃貸契約で運営している。来年以降の経営については未定。

4. 関金温泉の課題 (マンパワーの不足)

- ①持続可能な組織体制が構築されていない。事業を進めるだけで手一杯の状態。
- ②観光協会・商工会などの協力体制がない。



4. 関金温泉の課題（認知・誘客）

じゃらんエリア検索画面

鳥取のホテル・宿泊施設

[illegible]

- ① 主要なネット予約サイトでも温泉地と認識されていない。
- ② 観光目的の拠点宿泊施設としても認知度が低い。
- ③ 掲載順位はエリア最下部。

エリアの積極的なプロモーションは行えていない。

4. 関金温泉の課題（滞在時のアクティビティ）

エリア内に資源は多く点在するが、
いつ行っても提供されているアクティビティが少ない。

➡グループ予約でないと利用できない。

➡ガイド、案内人が不在。

（体験では、教育旅行が主で個人対応は難しい）

温泉街にアクティビティが少ない

➡温泉街に店はない

➡サイン看板が整備できていない。

➡文化・歴史・神社仏閣が整備されていない。

滞在時のオプションが少ない

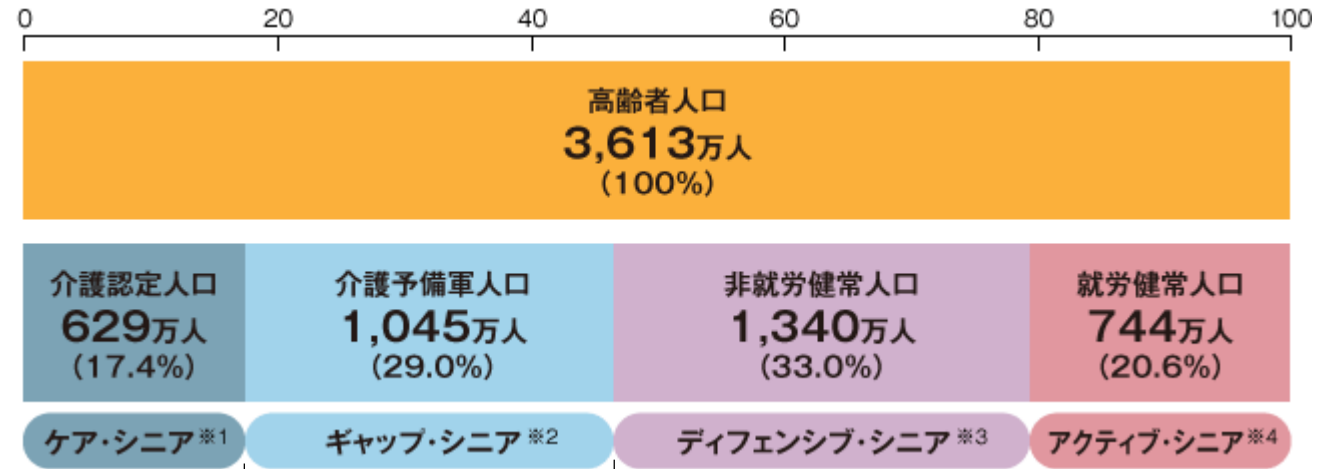
➡貸切風呂 ➡リラクゼーション ➡演芸・芸能 等

4. 関金温泉の課題 (市民のための温泉：官民連携)

主たる温泉利用者

シニア世代

温泉への入浴機会(参加率)が最も多い世代が、日常的に温泉に入れなくなっていく。



湯中運動

介護付温泉旅館利用

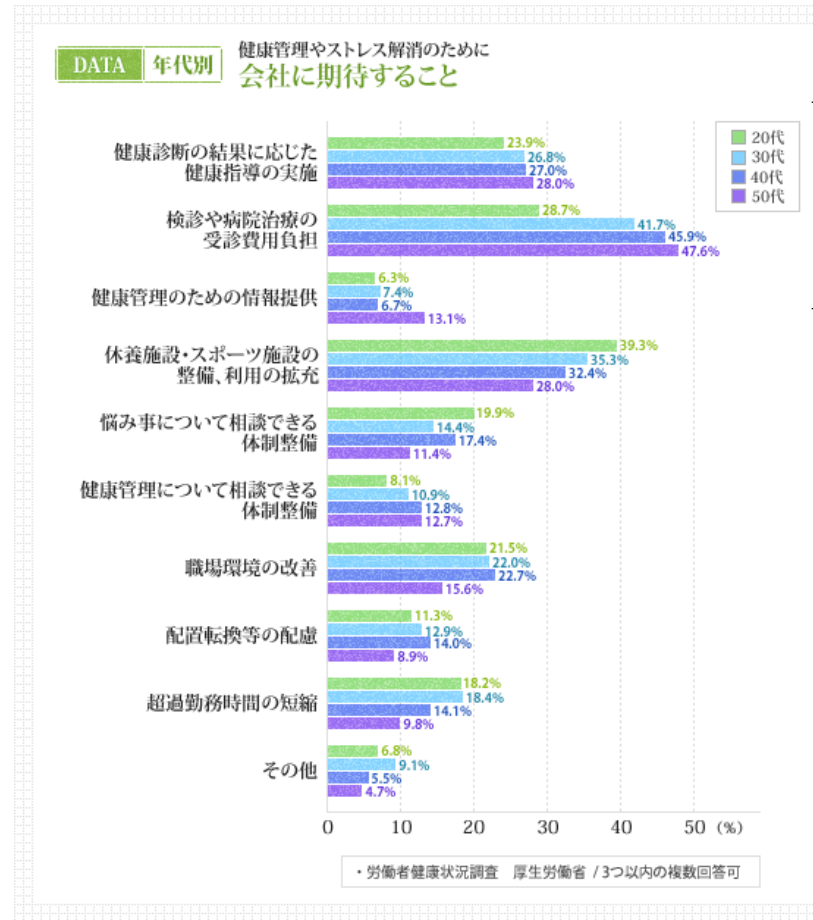
可能な限り温泉に入り続けていくことが出来る仕組みを官民が連携して構築していくことが重要。また交通網の整備も必要。

4. 関金温泉の課題 (市民のための温泉：官民連携)

主たる温泉利用者

ミドル世代

はたらく世代で、多くのストレスを抱え日常的にその発散が難しい状況がある。



健康マイレージ 福利厚生

企業も存続のためには、人材の確保が必要。福利厚生において、社員へのケアの拡充が必要。地域資源を活かした取り組みも必要。

4. 関金温泉の課題 （市民のための温泉：官民連携）

市民のための温泉を提供し続けるための

①官民連携 ②医師との連携 が十分に

構築されていない。また、今後の方針が

決まっていない。